

## 27. 取り戻そう、地域の輪と生きる力。

グループ名 一会の会  
代表者 馬越 美鈴

### ① 活動の目的

合併が進み市にはなったが、中山間地の高齢化・過疎化は著しく、高齢世帯・一人暮らし世帯は増えつづけ、車社会から取り残され孤独にくるしむ高齢者も増えている。高齢者が自身の発意で現状を何とかしたい！と声をあげたのを受け、これを支援することにした。参加者の要望をまとめ、次のような実施方策を申し合わせた。

- ◎ 場所 芦田公民館（使用料無し）
- ◎ 気軽なおしゃべり会
- ◎ しゃべりながら手先しごとをしたい。
- ◎ 来るものは拒まず、去るものは追わず
- ◎ 自身で出来ることをする。他人と同じにしなくては！と思はない。
- ◎ 可能なかぎり日曜日の 10：00～12：00 を定例とする。
- ◎ 可能なお出かけの機会をつくり村の外に出かける。
- ◎ 一会の会としてはミニデイサービスの講師を務めた会員を講師の中心として力をあわせる。

### ② 活動概要

#### 実施記録

平成 24 年 9 月 2 日・9 日・16 日・23 日・30 日

10 月 7 日・14 日・21 日・28 日

21 日は集合の後中学校区交流会（ゆめさきの森）参加

11 月 4 日・11 日・18 日・25 日

4 日は集合の後県立ゆめさきの森公園まつり参加

12 月 2 日・9 日・16 日

2 日は集合の後山之内地区農業祭に参加

平成 25 年 1 月 13 日・20 日・27 日

2 月 3 日・10 日・17 日・24 日

3 月 3 日・10 日・17 日・24 日

4 月 7 日・14 日・21 日・28 日

7 日は集合の後新庄地区のお花見・あいにくの雨で会員のお寺をかりてお弁当を食べる。

28 日は集合の後雪彦山のふもとのしゃがの群生を見に行く。ゆめのさと公園のそば昼食

5 月 5 日・12 日・19 日・26 日

5 日は集合の後安富地区かかしの里（ししが壺公園）見物昼食会。

12 日は集合の後 100 均・ホームセンターむさし・イオンのお買物ツアー

6 月 2 日・9 日・16 日・23 日

7 月・8 日・14 日・21 日・28 日

8 日（月）集合の後新装姫路駅見物・昼食会

8 月 4 日・18 日

定例会 45 回（内ひきつづきお出かけ 8 回）手仕事は思い思いに不要になった衣類を持ち寄りゆかたは作務衣に、ウールはひっぱりにしたてなをし、帯はバッグに、フェルトでミニぬいぐるみに糸はえりまきに、新聞カラーページでアクセサリー、マイカップの絵付けなど多彩な作品作りを楽しんだ。

活動の反省と次年度にむけて

◎手仕事をしながらおしゃべりしたい人がいる反面、もう視力も衰えたし、それかといつてなにもしないているのもつらいと参加できない人もでてきた。お出かけのときだけくるひともある。多彩な活動をかんがえたい。

◎26 年にむけて活動費の捻出については、参加費をとったらという意見もあるが、基礎年金で暮らしている人もあるし、指導者にまるきりボランティア（交通費まで自前で）させるのもどうかという意見もある。そこに 6 次産業を試みているグループから、地元産のにんにくが欲しいので栽培をやってみてくれないかとの依頼にの

って有志でやってみよう、成功すれば交通費の半分でもとやる気がではじめている。

## 会計報告

平成 24 年 9 月 1 日～平成 25 年 8 月 31 日

収入		支出	
大同生命厚生事業団	100,000	ボランティアバス代	102,600
一会の会 会費	40,000	ボランティアバス代	21,600
寄付	10,000	お出かけ支援謝礼	16,000
		会場ごきぶりダニ対策	1,596
		10月～3月灯油3缶	5,352
		素焼きカップ代金	2,852
計	150,000	計	150,000

支出説明 ボランティアバス代（白鳥⇄姫路駅⇄芦田橋（450+690）×2×45）

ボランティアバス代（大村⇄芦田橋 （240×2）×45）

お出かけ支援 （1,000×2×8）駐車料含む

バルサン（798×2）

灯油 （1784×3）

## 写真報告



手仕事はじめ





ゆめさきの森公園へ  
お出かけ。  
むかしなつかしい友だち  
にも会いました。

合間にはラジオ体操



お花見はあいにくの雨、新庄の徳善寺さんで宴会。



ししが壺へお出かけ。